

## ■職員の給与の状況

表④は人件費の状況で、人件費には毎月の給与のほか、退職手当や共済費の使用者負担分など広い範囲の経費が含まれています。

表④人件費の状況(普通会計決算)

区分	人口	歳出総額A	人件費B	人件費率B/A
平成29年度	9,524人	97億242万円	15億7734万円	16.3%

- (注) 1 人件費には毎月の給与のほか、退職手当、共済費の使用者負担分や特別職に支給される給料・報酬などを含みます。  
 2 『普通会計』とは、特別会計と企業会計を除いた会計です。  
 3 人口は平成30年3月31日現在です。

毎月の給料と期末・勤勉手当などの諸手当を合わせた職員給与費の状況は表⑤のとおりです。

表⑤職員給与費の状況(普通会計)

区分	職員数A	給与費			1人当たり給与費B/A
		給料	諸手当	計B	
平成30年度	177人	6億2275万円	3億6380万円	9億8655万円	557万円

- (注) 1 諸手当には退職手当を含みません。  
 2 給与費は当初予算額です。

給料表は一般職、医療職、医師職に区分され、職務の内容と責任の程度に応じて、それぞれいくつかの級に分かれています。一般行政職員全体の平均給料月額、諸手当を含めた平均給与月額、平均年齢は表⑥のとおりです。

表⑥職員の平均給料・給与月額および平均年齢(平成30年4月1日現在)

区分	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
一般行政職	291,639円	345,329円	39歳

- (注) 『一般行政職』とは医師、保健師、看護師などの特殊な職種を除いた一般事務職および一般技術職をいいます。(以下同じ)

表⑦は採用時の初任給です。

表⑦職員の初任給の状況(平成30年4月1日現在)

区分	厚岸町	国
一般行政職	大学卒	179,200円
	高校卒	147,100円

部門別職員数の状況は表③のとおりで、平成29年と平成30年を比較しています。

表③部門別職員数の状況と主な増減理由(各年4月1日現在)

区分	職員数		対前年増減数	主な増減理由	
	平成30年	平成29年			
一般行政部門	議会	3	3		
	総務	47	47		
	税務	10	12	△2	税財政課スタッフ減員 保健福祉課スタッフ減員
	民生	34	38	△4	
	衛生	16	16		
	水産	20	20		
	農商	6	4	2	まちづくり推進課スタッフ増員 建設課スタッフ減員
	土木	9	12	△3	
	小計	145	152	△7	
	特別行政部門	29	31	△2	スポーツ課スタッフ減員
公営企業等	病院	57	61	△4	医療スタッフ減員
	水道	5	5		
	下水道	3	3		
	国保	5	5		
	介護保険	8	8		
	老健	2	1	1	介護老人保健施設スタッフ増員
小計	80	83	△3		
総合計	254	266	△12		

- (注) 区分は毎年実施される『地方公共団体定員管理調査』の区分です。

## ■職員の人事評価の状況

地方公務員法に基づく人事評価制度については、人材育成のツールの一つとして活用することで、より高い能力を持った職員の育成を行い、能力・実績に基づく人事管理を行うことにより、組織全体の士気高揚を促し、公務能率の向上につなげ、住民サービス向上の土台を作ることを目的としています。

職務遂行の過程において発揮した能力を評価する能力評価と、挙げた業績を評価する業績評価の両面から評価し、その評価結果を能力開発と人材育成につなげるとともに、人事管理の基礎とします。

厚岸町では、平成29年10月1日から人事評価を実施し、平成30年度から人事評価結果を勤勉手当、昇給などに反映させています。

